

総合的な学習の時間学習指導案

令和3年11月10日(水)第6校時

3年A組 38名

指導者 小野 智博

1 単元名 附中25Project Second
～中学生からの未来へ向けてのメッセージ～

2 単元設定の理由

(1) 生徒について

- ・昨年度の総合的な学習の時間についてのアンケートでは「総合的な学習の時間は好きですか」の項目で89%が肯定的回答をしている。好きな主な理由は、「新たなことを知ることができる」「様々な人との意見交流が楽しい」である。「課題を解決するために意見を聞いたり友達と協力したりすることができていますか」では、99%が肯定的回答をしており他者と協働することに意義を見出し活動することができている。
- ・「地域にかかわる人・もの・ことについて学んでいますか」の肯定的回答率が他項目に比べて低い。昨年度は、ゲストティーチャーを招き、アバター、ドローンサッカー、職業人へのインタビューなどの学習を行ったが、地域と学習内容とが結びつきづらく、様々な地域から通学する生徒が多いため地域的課題への関心は高くない。
- ・昨年度の学習では、働く上で必要な資質・能力について、「課題の設定」「情報の収集」「思考ツールによる整理・分析」「ポスターセッションによるまとめ・表現」を行っており、各アンケート項目の肯定的回答が90%を超えている。また、今年度は一人一台端末のアプリケーションの使用によって、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現の資質・能力が育成されている。

(2) 教材について

- ・中学校を卒業して10年後の25歳は、高校卒業7年後、大学卒業3年後であり、人生のターニングポイントに向けて意識を高める年齢と考えられる。10年後の姿を思い描きながら、今後の自己実現に向けて必要な資質・能力を義務教育最終年に培うための教材と考える。
- ・I期では、「25歳の自分像」をテーマに、生徒自身が自分を見つめなおし、将来の在り方について考える契機とした。II期では、10年後の未来について、「10年後の世界をどう生きるのか」「10年後の世界はこんな世界になってほしい」「10年後に向けて今私たちがすべきこと」など、15歳の今だからこそ伝えたいメッセージ動画を制作することで、現代社会の課題を見つめなおし、主体的に社会に参画する姿勢を身に付けることが期待できる。
- ・義務教育最終年であることから、小中9年間の総合的な学習の時間や、各教科等の枠組みを超えた全ての学習で学んだ資質・能力を生かした活動ができると考えている。

(3) 指導について

- ・生徒達の10年後の25歳は、どのような社会になっているのか、SDGsや歴史の授業と関連させてイメージできるようにする。その後、現代の問題を解決したり、理想とする社会を実現したりするためのメッセージ動画を、15歳の今の自分たちだからこそ伝えられるものに焦点化し、課題を設定する。
- ・活動の目的を意識するように促すことで、「だれが」「だれに」「何を」「どのようにして」などの観点をふまえるようにする。目的に応じて手段を選択し、課題解決のために必要な情報を集めるようにしたい。また、情報を整理・分析する段階ではICT(Chromebook)を活用し、ジャムボードやスプレッドシート、グーグルフォームなどのアプリケーションから適切なツールを自分たちで選び、活用する力を身につけさせたい。
- ・動画の完成後、1,2年生の後輩、保護者、他の中学校の生徒たちに対するプレゼンテーションの仕方を考え、意図を明確にするようにし、発信する。レスポンスを受けることで生徒たちに達成感を味わわせるとともに、生徒たち自身の個人的な考えや新たな課題を自覚できるようにし、主体性を持って社会参画する姿勢を持てるようにする。

3 単元の目標および評価規準

10年後の25歳をよりよく生きるための資質・能力を、現代社会の課題について調べたり、メッセージ動画を制作したりする活動を通して、情報を収集し、15歳の自分を見つめなおすとともに、地域社会の一員として主体的に行動する自己実現力を身に付ける。

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①10年後をより良く生きるための資質・能力について、自分自身や他人のためになっていること、地域社会のためになっていること、それらは自己の成長とともに見出すことができることに気付いている。 ②収集した情報を手際よく分類し、分かりやすい方法で表している。 ③資質・能力の変容を自覚し、探究的な学習の良さが分かる。	①10年後をより良く生きるための資質・能力について、現代社会との関わりの中から課題を設定し、見通しをもっている。 ②他者に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりしている。 ③相手や目的に応じて自分自身の考えをまとめ、適切な表現をしている。	①課題解決に向けて見通しを持ち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返りながら次時の活動に生かそうとしている。 ②10年後に向けての資質・能力と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習や生活の在り方を積極的に考えようとしている。

様式2 指導と評価の単元計画

I期「25歳の自分像」 【課題の設定】今の生活や授業が将来にどうつながっているか考える。 【情報の収集】GTや高校の先生の話しから学んだり、テーマについてChromebookで調べたりする。 【整理・分析】学んだことを整理する。 【まとめ・表現】キャリアプランニングを作成し、自分の将来についての考えを深める。

II期「附中生からの未来へ向けてのメッセージ」					
小単元名(時数)	ねらい・学習活動	評価規準			評価方法
		ア知・技	イ愚判表	ウ態	
10年後の未来について考えよう(7)	附中25Project II期の方向性を知り、課題を設定する。 動画撮影について、班を編成し役割分担を行う。		①		ワークシート 行動分析
	GTによる講演を聞き、動画撮影のポイントを学ぶ。		②		行動分析
	動画のアイデアをブレインストーミングで出し合い、整理し、イメージを共有する。	①	②		ジャムボード 行動分析
	動画のテーマを決定し、情報収集と未来予測を行い、現代における自分たちの行動を見直し、内容を深める。	②			ワークシート 行動分析
	絵コンテ・脚本を制作する。		②		行動分析
	絵コンテ・脚本を班で共有し、今後の活動の見通しをもつ。			①	行動分析

附中生からの未来へ向けてのメッセージ動画を制作しよう(12)	絵コンテ・脚本をもとに動画の撮影を行う。	②			行動分析
	GT による講演を聞き、動画撮影のポイント②を学び、自分たちの計画をブラッシュアップする。		③		行動分析
	ブラッシュアップした計画をもとに、動画の撮影・編集を行う。	②			行動分析
	他の班の動画を見て、相互に見合い、発表の方法を見直す。		③		動画 行動分析
	前 2 時間の授業をもとに、動画の撮影・編集を行い、再構成をする。	②			行動分析
取組を振りかえろう(6)	全学年で各クラスの動画を見る。 審査を行い、優秀作品を表彰する。		④		ワークシート 動画
	県外の中学校の生徒に動画を公開し、交流を行う。		④		ワークシート 動画
	動画を視聴した人からの反応をもとに、取組の振り返りをおこなう。	③		②	ワークシート

Ⅲ期「切り抜き新聞グランプリ」

【課題の設定】10年後の未来について、自分なりの課題を見つける。

【情報の収集】テーマに関連する新聞記事を集める。

【整理・分析】収集した新聞記事を整理・分析する。

【まとめ・表現】大分合同新聞社「切り抜き新聞グランプリ」を制作し、応募する。

様式3 本時の指導

(1) 本時の位置づけ(14 / 25)

(2) 題材名 中間発表会

(3) 本時のねらい

自分たちの動画をより良くするために、アドバイスを受けたり、授けたりすることで、情報を整理し、課題を分析しながら、今後の方向性を見出すことができる。

(4) 展開

時間	学習活動	学習内容及び指導上の留意点	評価
3	1 本時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてをもって自分の役割に臨めるようにする。 ○10年後をテーマに、15歳の自分たちの思いや願いを相手に届けるために制作したことを再確認できるように促す。 	
	めあて 自分たちの動画を分析しよう		
15	2 各班の動画を視聴し、アドバイスをする。 1班「私の左利き」 2班「フードドライブ」 3班「レディースデイが崩れる30秒前」	<ul style="list-style-type: none"> ○動画を見た後、次の項目について、スプレッドシートに意見や感想を入力するように促す。 <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなメッセージを感じたか ・良い点 ・改善点 ○動画制作における生徒のこれまでの役割(監督、編集、カメラなど)の視点に基づいて意見や感想を入力するようにする。 ○初めて見る視聴者からの新鮮な意見や感想を手に入れたいため、動画についての説明はしない。 	
25	3 アドバイスを整理し、自分たちの動画を分析する。(動画制作班)	<ul style="list-style-type: none"> ○スプレッドシートを読み取り、視聴者の受け取り方に気付くようにする。 ○動画制作班(12~13人)でMeetをつなぎ、Web会議を行う。記録者は、Jamboard やスライドなどのアプリから記録ツールを選び、共有をかける。 ○自分たちの動画について、グループで課題を分析し、方向性を見出すようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・メッセージが視聴者に上手く伝わっていない ・音声が悪い ・画角を工夫したほうがよい 	○アドバイスを整理、分析し、今後の方向性を見出すことができる。(話し合い活動の観察、振り返りの記述) 【思考・判断・表現】
7	4 グーグルフォームに本時の振り返りを入力する。	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の具体的な動画の変更点などをあげるとともに、自らの学びを調整したり、新たな問いを設定したりするなど、振り返りを行うように促す。 ○グーグルフォームに入力された振り返りをスライドに映し、紹介し、共有することで、今後の方向性を確認する。 	